

令和4年度



3.11伝承・減災プロジェクト

津波防災シンポジウム

津波防災について考える
～防災学習と自助・共助～

日時

令和4年11月5日(土)

10時00分～12時10分

※ 9時30分開場

場所

亶理町立荒浜中学校 体育館
(亶理郡亶理町荒浜字東木倉70-1)

荒浜地区東部に新たに整備された
鳥の海公園

基調講演 10:05～

「自助・共助の防災力向上に繋げるための学びとは
～新たな震災伝承のかたち～」

しばやま あきひろ
柴山 明寛 氏

(東北大学災害科学国際研究所 准教授)



情報提供
(宮城県) 11:25～

「津波浸水想定の設定について」

情報提供
(亶理町) 11:35～

「亶理町における津波注意報時の
行動検証について」

※調整により題目や順番が変わることがあります。

会場案内



311復旧・復興パネル展

同日開催

入場無料
(定員100人)
事前申込

■主催：宮城県・亶理町 ■共催：公益社団法人 宮城県建設センター

お問い合わせ：宮城県土木部防災砂防課防災企画班 Tel：022-211-3175

Fax：022-211-3193 E-mail：bousa-ki@pref.miyagi.lg.jp

開催主旨



3.11伝承・減災プロジェクト

宮城県では、平成18年度から津波防災意識の向上を目的とした『津波防災シンポジウム』を開催しています。令和4年度は「世界津波の日」である11月5日に、13回目となる津波防災シンポジウムを開催します。

東日本大震災以降は、シンポジウムを通じて津波防災と津波災害伝承のことを考え、伝承の限界と継続の重要性について理解を深めてきました。今年度は「津波防災について考える～防災学習と自助・共助～」をテーマに、伝承と津波防災意識の継続について、取り組むべき課題や連携を考えます。

講演者紹介

東北大学災害科学国際研究所 准教授 しばやま あきひろ 柴山 明寛氏

静岡県出身、2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2007年独立行政法人情報通信研究機構、2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を地震工学、地域防災、情報通信などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、自主防災組織育成、震災の復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承、防災観光に繋げる研究を行っている。

受賞等：IBM Faculty Award 2013、科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（振興部門）（2015年）を受賞。

講演者紹介

亘理町（わたりちょう）

東日本大震災では町の約半分が津波により浸水した。町の地形等を踏まえ「徒歩と自動車を組み合わせた津波避難」の実践に取り組んでおり、東日本大震災以降に発生した津波注意報・警報等の事象に対し、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢も踏まえた、住民の避難等の行動に関する調査・検証を行っている。

会場アクセス

亘理町立荒浜中学校

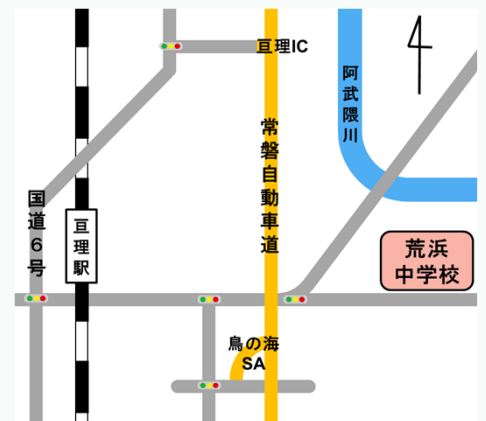
（亘理郡亘理町荒浜字東木倉70-1）

- JR常磐線亘理駅より徒歩50分
- 常磐自動車道（亘理IC～鳥の海方面へ）約10分
（鳥の海SA～鳥の海方面へ）約3分

※駐車場の収容台数には、限りがあります。

公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせのご来場にご協力をお願いします。

※各自上履きをご持参ください。



参加お申込方法

必要事項を記入の上、メールで送信をお願いします。

津波防災シンポジウム 参加申込書	
所属 （一般又は会社名）	
お名前 （複数の場合は代表者氏名）	
ご住所（市町村名）	
ご連絡先	
参加人数	



こちらからも
申込できます

申込期限 前日まで※

TEL 022-211-3175

E-mail bousa-ki@pref.miyagi.lg.jp

FAX 022-211-3193

宮城県土木部防災砂防課防災企画班あて

※受付は先着順となります。申込多数の場合は、受付を締め切らせていただく場合がございます。

※申込を済ませた方への返答は行いませんので、当日会場受付までお越し下さい。